東京五輪開幕 7人 晴れの舞台へ

パラリンピックは初出場

東京2020オリンピック競技大会が7月23日から8月8日までの17日間、同パラリンピック競技大会が8月24日から9月5日までの13日間にわたり開催される。

本学からは、5競技で、在学生3人、卒業生4人が日本代表として出場する。また、教員2人がコーチとして派遣される。

コロナ禍による開催の1年延期決定後、各競技大会の中止や延期、厳重な感染対策などに翻弄されながらも、国内外の厳しい戦いを勝ち抜いた選手ら。五輪期間中は、東京都が緊急事態宣言下となり、首都圏に限らずほとんどの試合会場が無観客となる中、選手らは大舞台に臨む。

＝3・6面に関連

多彩5競技で

喜田純鈴選手（21ア３年）＝アフロ提供

［凡例］氏名／出場種目／所属／出身地／主な経歴／年齢（7月21日現在）

《在学生》

●**喜田純鈴**（きた・すみれ）／新体操・個人総合／21世紀アジア学部3年／香川県／高松中央高出身／20歳

○主な成績

【令和元年】全日本選手権個人総合優勝

【令和2年】グランシアカップ種目別ボール3位、全日本学生選手権個人総合優勝、全日本選手権個人総合優勝

【令和3年】全日本クラブ選手権個人総合1位

●**大岩千未来**（おおいわ・ちさき）／新体操・個人総合／理工学部2年／千葉県／あずさ第一高出身／19歳

○主な成績

【令和3年】W杯ソフィア大会個人総合8位、W杯ベサロ大会個人総合10位・種目別ボール8位・クラブ5位、全日本クラブ選手権個人総合2位

●**齋藤元希**（さいとう・げんき）／パラリンピック・水泳／工学研究科修士課程1年／山形県／日大山形高―国士舘大（令和3年理工学部卒）／22歳

○主な成績

【令和元年】IDMベルリン大会200㍍自由形3位・400㍍個人メドレー3位、第36回日本パラ水泳選手権大会100㍍バタフライ優勝・200㍍個人メドレー優勝

【令和3年】第37回日本パラ水泳選手権大会 100㍍背泳ぎ優勝・200㍍個人メドレー優勝

《卒業生》

●**小南拓人**（こみなみ・たくと）／陸上競技・やり投／染めQテクノロジィ／北海道／札幌第一高―国士舘大（平成30年体育学部卒）／25歳

○主な成績

【令和3年】織田記念国際大会優勝、日本選手権優勝

●**清水梨紗**（しみず・りさ）／サッカー女子／日テレ・東京ヴェルディベレーザ／兵庫県／元石川高―国士舘大（令和元年21世紀アジア学部卒）／25歳

○主な成績

【令和元年】日本代表、FIFA女子ワールドカップ・フランス大会ベスト16

【令和2年】日本代表

【令和3年】日本代表

●**岩崎優**（いわざき・すぐる）／野球／阪神タイガース／静岡県／清水東高―国士舘大（平成26年21世紀アジア学部卒）／30歳

○主な成績

【令和元年】登板数48試合、防御率1・01

【令和2年】登板数41試合、防御率1・82

●**横田葵子**（よこた・きこ）／新体操・団体総合／クラシエホールディングス／東京都／昭和学院高―国士舘大（令和2年21世紀アジア学部卒）／24歳 ※2大会連続出場

○主な成績

【令和元年】第37回世界新体操選手権大会団体種目別ボール優勝・団体種目別フープ＆クラブ2位・団体総合2位

《教員》

●**岡田雅次**（おかだ・まさじ）／陸上競技・コーチ／体育学部教授／東京都／本学陸上競技部監督／59歳

●**鈴木桂治**（すずき・けいじ）／柔道男子・コーチ／体育学部教授／茨城県／本学柔道部総監督／41歳

大岩千未来選手（理工2年）＝アフロ提供

齋藤元希選手（工学研究科修士課程１年）

プールサイドで記念撮影するスナイフリードゥル選手（右から２人目）ら選手団のメンバー

アイスランド選手団が練習

町田、多摩キャンパス利用

アイスランド共和国オリンピック選手団が順次入国し、町田と多摩の各キャンパスの施設で練習を開始した。7月19日には競泳・自由形のスナイフリードゥル・ソル・ヨゥルンナルドッティル選手が町田キャンパスのプールを訪れ、大会に向けて調整を行った。

選手団は競泳と陸上競技・男子円盤投の選手各1人とスタッフを含め8人で、町田キャンパス15号館やプールのほか、多摩キャンパスの陸上競技場やスポーツパフォーマンスセンターなどを使用する。新型コロナウイルス感染防止対策として、学生との動線を分け、接触しないように留意する。

同国パラリンピック選手団は8月17日から本学多摩キャンパスで練習を行う予定。

本学施設の無償提供は、本学と、同国の事前キャンプ地である東京都多摩市、同国の各協会との覚書によるもの。

聖火つないだ

5人 各地でランナーに

3月25日に福島県を出発し全国の各自治体を巡る聖火リレーは、7月23日の最終地到着までおよそ1万人が聖火をつないだ。

本学関係のランナーは次の通り。

〔凡例〕氏名（所属）／参加日／自治体／備考

【教員】

鈴木桂治（体育学部教授）／7月5日／茨城県常総市／本学柔道部総監督。

公道でのリレーが中止となり、点火セレモニーに参加した向山さん＝読売新聞社提供

森脇保彦（体育学部教授）／7月22日／東京都渋谷区／本学柔道部長。日本不参加のモスクワオリンピック「幻の五輪代表（柔道）」の一人。

【学生】

吉留大夢（体育1年）／4月27日／鹿児島市／男子新体操部所属

笹原聖矢（体育3年）／6月7日／山形県尾花沢市／スキー部所属

向山蒼斗（体育3年）／7月10日／東京都多摩市／男子新体操部所属

宇佐美さん 選手団率い

空手道初の女性強化委員長

宇佐美さんは今年5月、日本代表の強化委員長に就任した。全日本空手道連盟で女性の強化トップ就任は初めてのことで、宇佐美さんは就任後の会見で「選手に精神面で寄り添い、サポートしていきたい」と抱負を語った。

このほか卒業生の活躍も注目したい。空手道の宇佐美里香さん（平成20年文学部、同27年スポーツ・システム研究科卒業。写真＝空手道マガジン「KiFan」提供）が、空手道の強化委員長として日本選手団を率いる。

ルール守った観戦を

在学生の皆さんへ

◇有観客となった試合会場では、観戦ガイドラインを遵守しましょう

◇観戦の際はグループでの飲食は控え、自宅で応援しましょう

成功を願って 本学の取組み

大会組織委と連携協定締結

ボランティア参加の促進も

本学は、平成26年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と大学連携協定を締結して以降、同28年に多摩市と連携協定を、令和元年には多摩市と多摩市内6大学（大妻女子、恵泉女学園、多摩、国士舘、桜美林、東京医療学院）とで連携協定を締結し、平成30年本学に設置の東京オリンピック・パラリンピック支援課が中心となって、各種イベント開催による気運醸成を図ってきた。

同年の大会ボランティアと都市ボランティアの募集に際しては、大会前に春期授業・定期試験を終了させる、大会に関わる理由で授業を欠席する場合は公欠とするなどの特別措置を示し、学生への積極的な参加を促した。また令和元年にはボランティア活動を単位認定することとした。

本学は同年、多摩市とアイスランド国立オリンピック・スポーツ協会の3者、同2年には同市とアイスランド障がい者スポーツ協会との3者で覚書を締結し、アイスランド共和国のオリンピック・パラリンピック選手団が多摩市で事前キャンプをする際には、本学施設を提供することになった。

コロナ禍による大会延期という状況においても、感染対策の徹底と啓発を図りながら、大会開催に向けた取り組みを行ってきた。

『国士舘百年史 通史編』を刊行

『国士舘百年史』（左『通史編』）

創立100周年記念事業の一環として百年史編纂委員会が編集を進めてきた『国士舘百年史 通史編』が刊行となった。

本書『通史編』は、内容を3部構成とし、国士舘の創立から現在に至る学園の歴史を1冊にまとめている。すべて記録資料に基づいて正確かつ詳細に記述し、学術研究に耐えうる内容となっている。巻末には、校舎配置変遷、年表、諸学校・学部の変遷、歴代役職者の一覧を付して利用の便を図った。

国士舘における本格的な修史として、すでに刊行した『国士舘百年史 史料編』上・下2冊（平成27年）、ブックレット『国士舘100年のあゆみ』（平成29年）とあわせて利用することで、国士舘発展の歴史を総合的に理解することができる。『通史編』の目次・仕様は次の通り。

◇目次◇

第1部 国士舘の創立と発展

第1章 国士舘の創立／第2章 中等教育機関の創設／第3章 高等教育機関の拡充と戦時下の学園

第2部 戦後の再建から総合学園化

第1章 復興への取り組み／第2章 国士舘大学の創設／第3章 教育の拡充と総合学園／第4章 学園の近代化と規模拡大

第3部 学園の改革から創立100周年へ

第1章 学園の改革／第2章 教育の進展と80周年／第3章 創立100周年に向けて

資料 校舎配置図／国士舘略年表／国士舘の沿革図／歴代役職者一覧

○仕様 A5判（縦組）／上製本（布クロス函入）／約1200頁

紙幅の関係等から『国士舘百年史』に収載できなかった事項は、国士舘史資料室で今後の編纂事業に向けた諸作業が進められる。（関連記事4面）

問い合わせはこちら（国士舘史資料室）→

政経学部創設60周年

記念講演会３００人視聴

今年創設60周年を迎えた政経学部は、5月27日に記念講演会を世田谷キャンパスで開催した。講演はＺｏｏｍを用いたオンラインで実施され、本学にゆかりのある著名人が講演したほか、各界で幅広く活躍する卒業生らが登壇。多目的ホールおよび各教室に集まった学生・教職員約３００人がリアルタイムで視聴した。

政経学部は、昭和36年に体育学部に続く2番目の学部として設置。当時は「安保闘争」が激化した時代で、設置目的には、左傾化する世論を憂慮して日本伝統の政治的倫理観と国際的な視野を持つ人材の育成を掲げた。これまでに約5万人の卒業生を輩出している。

（関連記事2面）

経営学部は10周年

11月に記念行事を予定

経営学部は、11月23日に世田谷キャンパス多目的ホールで創設10周年記念式典・シンポジウムを開催する。テーマは「ＳＤＧｓと中堅・中小企業」で、各界で活躍するゲストを招く予定。参加対象は、本学学生・教職員。

また、記念冊子の発刊準備を進めている。詳細は今後、経営学部のホームページに掲載していく。

学園閉鎖のお知らせ

本学は法律に基づく省エネルギー対策の一環として次の期間中、学園を閉鎖します。この間に管理者・許可者以外は入構できません。

■世田谷・町田・多摩キャンパス：8月12日～17日

■中学・高校区域：8月2日～8日

本学救急救命士らも打ち手に

大学拠点接種を開始

本学は、7月3日から本学学生・教職員ほか関係者約８０００人を対象とした新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種を開始した。

初日の接種会場となった世田谷キャンパス体育・武道館1階には、予約時間に合わせて教職員・学生が訪れ、約１００人が接種を受けた。

学生からは、「受付から終了までスムーズで安心して接種を受けることができた」「感染リスクを少しでも減らしたかった」などの声が聞かれた。

本学の大学拠点接種は、協定を結ぶ多摩丘陵病院の協力を得て、本学体育学部スポーツ医科学科などに所属の医師免許を有する教員９人と、救急救命士資格を有する教職員約30人および看護師６人、職員は延べ約３００人の体制で行う。救急救命士は、実技研修を経て接種や経過観察などへの対応にあたっている。世田谷・町田・多摩の３キャンパスに接種会場を設け、７・８月の土・日曜日などを利用して接種を進める。希望者には８月中に2回目の接種を終える予定。

また、キャンパス近隣の教育機関の教諭らへの接種も実施している。

集団免疫の獲得が感染拡大防止の具体策として有効とされる中、本学も対面授業や課外活動の実施に向け、学生への早期接種に期待をかけている。

ワクチン接種を受ける学生。打ち手は学内の救急救命士（世田谷キャンパス）

題字は創立者 柴田徳次郎筆
発行所
学校法人国士舘
〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
編集 広報課
☎ 03-5481-3115

国士舘大学

国士舘大学新聞はウェブサイトでもご覧になれます

www.kokushikan.ac.jp/information/public_relations/news_paper/

年４回・25日発行（1・4・7・10月）

卒業生の皆様へ

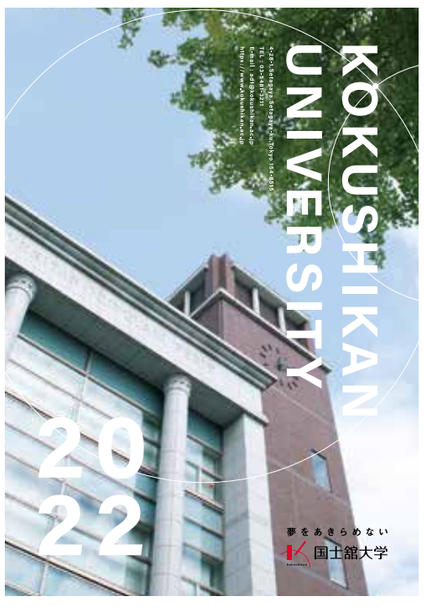
いつも国士舘大学新聞をご愛読いただき、ありがとうございます。

発送停止やご住所の変更は下記までご連絡くださいますようお願いします。

同窓会事務局
TEL：03-3413-7303
［平日 9:00 ～ 17:00］

今号の紙面

▼政経学部創設60周年記念講演会を開催……【2面】
▼『国士舘百年史 通史編』纂事業を振り返って……【4面】
▼就活支援 オンラインも活用し手ごたえ……【5面】
▼東京2020大会出場の学生3選手に意気込みを聞く……【6面】



▲大学案内 2022 を配布中です。

OPEN CAMPUS

事前申込制

キャンパスイベントに参加しよう！

・キャンパス施設見学ツアー
在学生がキャンパス内をご案内。学内をめぐりながら、キャンパスライフについて聞くこともできます。

・個別相談会
各学部・学科の先生や在学生と直接相談ができます。授業のこと、カリキュラムやゼミ、卒論からクラブ活動にいたる学生生活のことなど、なんでも遠慮なく聞いてください。

WEB 進学相談実施中

8/28（Sat）世田谷・町田 キャンパス施設見学ツアー
8/29（Sun）世田谷 個別相談会※1
9/25（Sat）町田・多摩 キャンパス施設見学ツアー
9/26（Sun）世田谷 個別相談会※2

※1 政経／体育／理工／法／文／21世紀アジア／経営　※2 政経／理工／法／文／21世紀アジア／経営

CONTENTS
・オンライン個別相談
・大学・学部紹介
・入学者選抜情報
・小論文解説
・キャンパスツアー

イベント情報は随時ホームページで更新中

令和4年度（2022年度） 入学者選抜要項概要

※詳しくは、「令和４年度（2022年度）入学者選抜要項」で必ずご確認ください。

AO選抜Ⅰ期		推薦選抜（一般公募制）	
選抜日程・選抜内容について		選抜日程・選抜内容について	
インターネット出願期間	10月１日(金)～10月７日(木)	インターネット出願期間	11月１日(月)～11月８日(月)
実施学部	全学部	実施学部	政経学部、理工学部、法学部、文学部、21世紀アジア学部、経営学部
試験日	10月24日(日)	試験日	11月21日(日)
合格発表日	11月１日(月)	合格発表日	12月１日(水)
入学手続日	１次手続締切日：11月15日(月) ２次手続完了日：３月１日(火)　郵送消印有効	入学手続日	１次手続締切日：12月15日(水) ２次手続完了日：３月１日(火)　郵送消印有効
選抜内容	小論文（600字）　100点／60分 面　接（政経学部・理工学部を除く学部）　100点 口頭試問（政経学部・理工学部のみ）　100点 書類審査（調査書、出願基準証明書、学修計画書）　100点	選抜内容	小論文（600字）　100点／60分 面　接（理工学部を除く学部）　100点 口頭試問（理工学部のみ）　100点 書類審査（調査書、推薦書、学修計画書）　100点

※AO選抜Ⅱ・Ⅲ期の実施学部・選抜日程等は、本学のホームページもしくは「令和4年度（2022年度）入学者選抜要項」でご確認ください。

◆https://www.kokushikan.ac.jp/admission/